

# かもう公民館 図書室だより

平成26年度 11月号  
蒲生公民館図書室 ☎52-1771

## 11月 (霜月 しもつき)

その名の通り、寒々とした空の下に朝霜が降り始める11月。山々がきれいに紅葉するにつれ、寒さがだんだんと深まっていく季節です。これから本格的に訪れる冬にそなえて、冬じたくを始めましょう。

(参考資料:「なごみ歳時記」)



### 第 68 回 読書週間のお知らせ



10月27日から11月9日は読書週間。期間中、蒲生公民館図書室では、「もっと知りたい！わたしたちの鹿児島」をテーマに本を展示しております。知らないもの、知らないこと、知らない場所…知っているつもりで知らなかったことが、意外とまだまだあるのでは？

ぜひこの機会に、新しい鹿児島を見つけにいきましょう！



### ●11月カレンダー

休室日     

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

開室日：火～日曜日

(月曜・祝日は休室)

開室時間：9:00～17:00

(12:00～13:00は休室)

貸出冊数：図書5冊・雑誌2冊

貸出期間：15日間

### 新着図書のご案内

※中央・加治木の本も予約できます。

始良市立図書館ホームページ

<http://lib-airajp/>

#### 「明日の子供たち」 有川浩 著



想いがつらなり響く時、昨日と違う明日が待っている。児童養護施設を舞台に、仕事の壁、将来の夢、恋の行方などを描いたドラマティック長篇小説。

かつて、愛する人を守るために死んでいった若者たちがいた。彼らが飛び立った場所、鹿児島・知覧を通して、伝えたい思いや残したい未来について考える。



#### 「人生に迷ったら 知覧に行け」 永松茂久 著

#### 「身体巡礼」 養老孟司 著



世界遺産の骸骨堂、ハプスブルク家の霊廟、カトリック聖地、心臓信仰、黒聖母様、意匠を凝らした墓の数々…埋葬から見えてくる、ヨーロッパの“裏側”とは。

#### 一般書

- 「鹿児島あるある」 清水照美
- 「リーダーズ・イン・ジャパン」 有森隆
- 「0歳からのワクチン接種ガイド」
- 「暮らしのコツコツ」 石村由起子
- 「荒神」 宮部みゆき
- 「四人組がいた。」 高村薫
- 「約束の向こうに」 佃祐世

#### 児童書

- 「アンパンマンのこもりうた」 やなせたかし
- 「ガリバー旅行記」 J・スウィフト
- 「オズのまほうつかい」 ライマン・フランク・ボーム

### 今月の展示コーナー

#### 【特集 日韓文化交流！】

今年も11月16日(日)に、大楠どんと秋まつりが開催されます。毎年恒例になっているのが、太鼓演奏や伝統舞踊などを通じた韓国との文化交流。そこで今回は、物語や絵本などを始め、韓国に関する本を特集します。どうぞご覧ください。

実在した朝鮮最高の妓生、ファン・ジの波乱の生涯を描く歴史ロマン。



●おすすめ●



歌を歌いながらあかい汽車といっしょに楽しく学ぶ、ハンゲル版ABCの絵本。

※このほか、歴史や文化、語学の本もあります♪

### 蒲生公民館図書室利用者 おすすめの本

#### \*「アリス殺し」 小林泰三 著

誰もが知っている童話、「不思議の国のアリス」がモチーフになっているミステリ小説。この作品の面白い所は、「不思議の国」で起きた事と、現実世界で起きた事が繋がっている…という所です。自分が予想していた推理と全く逆をつかれ、最後の最後まで展開が読めず、ラストまで「ダメされた！」と思うような作品です。(20代・女性)



#### ＊あなたのおすすめ本をおしえてください＊

お寄せ頂いた感想文は、「図書室だより」などで紹介させていただきます。お気軽にどうぞ♪

